

投稿規定及び執筆要領

I. 投稿規定

1. 投稿の定め

大手前大学国際看護研究所規程第3条に基づき、大手前大学国際看護研究所研究集録（Journal of Otemae University Institute of Global Nursing：JIGN）の原稿執筆要領を以下のとおり定めるものとする。

2. 投稿資格

著者に本学教員が1名以上含まれていること。専任教員は単独執筆1編に加え、共同執筆の共著者として、もう1編の執筆が可能とする。可能な限り、執筆者の研究分担および執筆分担を明示すること。

3. 区分

投稿論文は、総説、原著論文、報告、その他で、それぞれの内容は以下の通りである。

1) 総説 (Review article)

看護学及び近接領域に関わる特定のテーマについて、多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて歴史的背景、重要性、進捗状況、将来の方向性など総合的に学問的状况を概説し、考察や展望を明らかにしたもの。

2) 原著論文 (Original article)

研究が独創的で、新しい知見と実践への示唆が論理的に示されているもの、学問的に意義が明らかかなもの。JBI プロトコルに沿って記述されたシステムティックレビュー、Rodgers あるいは Walker & Avant 等のアプローチによる概念分析は、大手前大学国際看護研究所編集委員会（以下、編集委員会と称す）の判断により原著論文として扱うことがある。

3) 報告 (Report)

看護の視点で改善、あるいは開発したシステム、援助技術、物品等の実用的価値のある事例を記述した実践に関する報告及び新しいもしくは有用な援助技術の適用例を論文形式にまとめたもの。

内容が原著論文には及ばないが、研究結果に意義があり、看護学及び近接領域の発展に寄与すると認められる提案・提言、有用な調査により研究や実践活動の参考となり、公表の意義があると認められるもの。

4) その他

上記以外において、編集委員会が適当と認めたもの。

4. 研究倫理

本研究が倫理的配慮のもとに実施されたものであることを明記すること。

1) 対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている。

2) 対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている。

3) 個人データが守秘され、個人情報保護されている。

4) 研究者としてのモラルに反していない、引用文献を明記し盗用がないこと、他学会誌と重複投稿でないこと。

5) 原著論文、報告の場合は、所属機関などの倫理委員会の審査を受けている。

5. 利益相反

1) 論文投稿時に著者全員について、発表内容に関係する企業・組織または団体との前年度1年間のCOI状態を「利益相反事項届出書」（様式3）に記載する。

2) 当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を「謝辞」の欄の次に、「利益相反」の欄を設けて記載する。利益相反状態が存在しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

6. 執筆届

投稿予定者は、執筆届（様式1）に必要事項を記載して、刊行スケジュールの執筆届受付期間内に編集委員長へ提出すること。

7. 投稿前には、投稿論文チェックリスト（様式2）に沿って確認し、不備のないよう整える。

8. 原稿の投稿は角2封筒に封入し「JIGN 投稿論文在中」と表に記載し、あわせて論文提出日も記載する。論文は3部用意し、1部は氏名を記載、2部は氏名記載なしのものをそれぞれクリップで留めておく。提出先は大阪キャンパス図書館窓口カウンターとする。

9. 投稿論文チェックリスト（様式2）利益相反申告書（様式3）も同時に封入する。

10. 原稿受付・採否
 - 1) 原稿の投稿は刊行スケジュールに沿って受付期間中に受け付ける。研究集録の発行は年2回である。
 - 2) 投稿規定にそっていない論文は、受け付けないことがある。
 - 3) 原稿の投稿日を受付日とする。投稿後、執筆届（様式1）に記載されているメールアドレスに編集委員会より論文の受領をメールで通知する。
 - 4) 論文の査読は、編集委員会が指名した者で査読される。採否は、査読を経て編集委員会において決定する。
 - 5) 査読者の判定により、論文の区分の変更を著者に勧めることがある。審査によって返送され、再提出を求められた原稿は、返送日から所定の日時までには再投稿すること。所定日時までに再投稿がない場合は、新規受付として扱われる。
11. 著作権
本誌に掲載された論文等の著作権は、学校法人大手前学園著作物に関する規程に基づき、大手前大学に帰属する。
12. 費用
掲載料は発生しない。
13. 電子化および Web 公開
執筆届において電子化および Web 公開について許諾した場合は、大手前大学リポジトリへの登録および公開を認めたこととする。なお、別冊は発行しない。

II. 執筆要領

1. 提出原稿は MS-Word で作成し、図表は Excel で作成する。
2. 書式は A4 横書きとする。余白を左右上下 30 mm に設定し、各ページの下中央にページ数を記入する。
3. 和文原稿の場合、文字数 35 字× 28 行に設定し、適切な行間をあける。英文原稿の場合、ダブルスペースで作成する。
4. 用いる言語は日本語または英語とする。本文のフォントは、日本語の場合 MS 明朝、英語の場合 Century とし、フォントサイズは和文の場合 10.5 ポイント、英文の場合 12 ポイントを使用する。英文の場合、ネイティブ・チェックを受けて投稿する。
5. 構成は、タイトル、著者名および所属機関、要約、キーワード、本文（図表含む）、引用および参考文献とする。その他、必要に応じて結論、付録や謝辞などを含めてもよい。
[原著論文]
本文は、緒言、目的、方法、結果、考察、で構成し、引用および参考文献を含めて和文の場合 16,000 字以内、英文の場合 10,000 words 以内で作成する（和文、英文ともタイトルおよび要約は文字数に含まない）。図表は 1 ページ 400 字または 250 words として換算する。図表には通し番号をつけ、本文とは別に、1 点ごとに 1 ページで作成する。和文要約 400 字程度および 250 words 程度の英文要約を付ける。また、キーワード（和英同内容のもの）は 5 つ以内とする。
[総説・報告・その他]
原著論文に準ずるが、内容に応じ、適宜変更してもよい。和文の場合 12,000 字以内、英文の場合 7,500 words 以内で作成する。
6. 見出しは、以下に示すとおり記載する。
 - ①章：Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ… 節：1、2、3…
 - ②項：1)、2)、3)…
 - ③目（項の下層）：(1)、(2)、(3)…
7. 引用および参考文献は、APA 方式で記載する。詳細は「APA 論文作成マニュアル」または「Publication Manual of the American Psychological Association: The Official Guide to APA Style」に準ずる。
 - ・ 冊子版学術誌掲載論文：著者名. (出版年). 論文タイトル. 収録誌名, 巻 (号), 開始ページ-終了ページ.
 - ・ オンライン版学術誌掲載論文 (DOI のない場合)：著者名. (年号). 論文タイトル. 収録誌名, 巻 (号), 開始ページ-終了ページ. URL
 - ・ オンライン版学術誌掲載論文 (DOI のある場合)：著者名. (年号). 論文タイトル. 収録誌名, 巻 (号), 開始ページ-終了ページ. doi : DOI 番号
 - ・ 書籍：著者名. (出版年). 書籍タイトル. 発行元.

Journal of Otemae University Institute of Global Nursing (JIGN)

大手前大学国際看護研究所研究集録

() 年 第 () 号 執筆届

代表執筆者	フリガナ		
	ローマ字	所 属	
	連絡先 〈住所〉 〈TEL〉 〈メールアドレス〉		
共同執筆者 1	フリガナ		
	ローマ字	所 属	
共同執筆者 2	フリガナ		
	ローマ字	所 属	
共同執筆者 3	フリガナ		
	ローマ字	所 属	
共同執筆者 4	フリガナ		
	ローマ字	所 属	
共同執筆者 5	フリガナ		
	ローマ字	所 属	

区 分	① 総説 ② 原著論文 ③ 報告 ④ その他	
和文題目		
英文題目		
キーワード	〈和文〉 1. 2. 3. 4. 5.	〈英文〉 1. 2. 3. 4. 5.
枚数 (図表含む)	枚 (予定)	
電子化および Web 公開	許 諾 す る	許 諾 し な い
備 考		
〈備考〉 1. 備考欄以外の項目はご記入ください。 2. 共同執筆者がある場合は、共同執筆者欄に併記し、所属機関もご記入ください。 共同執筆者が5名を超える場合は、枠を増やしてご記入ください。 3. 電子化および Web 公開を許諾される場合は、下記にご注意ください。 1) 共著者全員の許諾を得ていること 2) 図表等他者の著作物が含まれる場合、その著作者から許諾を得ていること 3) 他者の肖像権や個人情報等に抵触する場合、その対象者の許諾を得ていること 4) 提出された原稿は、査読者の評価を経たうえで、大手前大学国際看護研究所編集委員会が採否を決定します。 査読結果によっては、内容（語句表現や図表等）についての再検討や補筆、区分の変更を要請することがあります。		

* ご記入いただいた個人情報は、適正に保管し、大手前大学国際看護研究所編集委員会および大学図書館との連絡以外には使用致しません。

Journal of Otemae University Institute of Global Nursing (JIGN)

大手前大学国際看護研究所研究集録

投稿論文チェックリスト

論文タイトル

氏名

論文を投稿する際には、本紙に沿って点検、確認し、提出してください。

- 投稿前に、執筆届（様式 1）を編集委員長へ提出している。
- 著者に本学教員が 1 名以上含まれている。
- 原稿は MS-Word、図表は Excel で作成されている。
- 原稿の書式は A4 用紙、余白は左右上下 30 mm、各ページの下中央にページ数を記載している。
- 和文の場合、MS 明朝を用い、文字数 35 字×28 行で作成している。
- 英文の場合、Century を用い、ダブルスペースで作成している。
- フォントサイズは和文の場合は 10.5 ポイント、英文の場合は 12 ポイントを使用している。
- 図表には通し番号をつけ、本文とは別に、1 点ごとに 1 ページで作成している。
- 原稿の字数は、図表を含め規定の範囲内である（図表 1 点につき、和文は 400 字、英文は 250 words 換算）。
 - 〔原著論文〕和文：16,000 字以内、英文：10,000 words 以内
 - 〔総説・報告・その他〕和文：12,000 字以内、英文：7,500 words 以内
- 論文の構成は、タイトル、著者名および所属機関、要約、キーワード、本文（図表含む）、引用および参考文献の順で記述し、1 つのファイルにまとめている。
- 本文の見出しは、章：I、II、III…、節：1、2、3…、項：1)、2)、3)…、目（項の下層）：(1)、(2)、(3)…で統一されている。
- 研究は倫理的配慮のもとに実施され、その内容が明記されている。
- 内容が明確かつ簡潔で、読み手に確実に伝わる文章で記述されている。
- 引用および参考文献は APA 方式で記載されている。
- 要約は、和文 400 字程度、英文 250 words 程度で作成されている。
- 和文要約と英文要約の内容に相違がない。
- 誤字、脱字、スペルミス等の誤りがない。
- 盗用や重複投稿がない。

Journal of Otemae University Institute of Global Nursing (JIGN)

大手前大学国際看護研究所研究集録

本集録で発表を行う著者の利益相反 (COI) 申告書

年 月 日

代表執筆者氏名 (自署)

論文題名

著者全員について、投稿時から遡って過去 1 年以内での発表内容に関する企業・組織または、団体との COI 状態を記載してください。

	金額など	該当の状況	該当の有る場合：企業・組織又は団体名等
役員・顧問職	100 万円以上	有・無	
株	利益 100 万円以上 全株式の 5 % 以上	有・無	
特許権使用料等	100 万円以上	有・無	
講演料等	50 万円以上	有・無	
原稿料	100 万円以上	有・無	
企業・団体等からの 研究費	200 万円以上	有・無	
奨学寄附金 (奨励寄付金)	200 万円以上	有・無	
寄附講座 (実質的に用途を決定する 寄附金で実際に割り当てた 100 万円以上のものを記載)	所 属	有・無	
その他報酬	10 万円以上	有・無	
個人的利害関係が生じるような状態		有・無	

(本申請書は、申告の日から 2 年間保管されます)

編集後記

若葉の候 2019年春、大手前大学大阪キャンパスに新たな学部が誕生してから2年目を迎える2021年3月、国際看護研究所の研究集録集の創刊号をまとめることができました。この巻には4編の投稿がありました。今後はさらに投稿数を増やし、雑誌の質の向上を図ってまいりたいと考えます。また、臨床の方々からの問題提起や研究成果の投稿もお待ちしております。もちろん、英語論文だけでなく、和文論文も大歓迎です。

2020年から現在まで、COVID-19によって生活様式が一変してしまいました。感染の収束の目処はまだ不確かで、臨床研究にも制限がある現状です。この状況から脱却できました際には、是非関連施設と本学部との共同研究の推進がなされることをと願います。

最後になりましたが、創刊号の発刊にあたりましては、投稿論文に対し、建設的なご意見をいただきました査読者の先生方にも厚く御礼申し上げます。

編集委員会

委員長：前田 勇子

編集委員：木野 寛子 田中 春菜